

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パピレス

コード番号 3641 URL <http://www.papy.co.jp/info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-3590-9460

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,297	21.4	320	73.7	331	77.5	206	76.2
25年3月期第2四半期	2,715	19.5	184	30.4	186	22.9	117	28.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	82.23	81.59
25年3月期第2四半期	47.70	47.44

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	3,869		2,415		62.4	
25年3月期	3,501		2,221		63.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,415百万円 25年3月期 2,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,080	26.9	611	38.2	644	29.4	400	27.8	159.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	2,581,720 株	25年3月期	2,581,720 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	68,088 株	25年3月期	68,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	2,513,632 株	25年3月期2Q	2,459,832 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、景気が回復傾向を見せています。輸出に持ち直しの動きがみられ、生産は緩やかに増加しています。企業収益や雇用情勢は改善し、個人消費も持ち直し傾向にあります。しかしながら海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

通信端末の市場環境は、IDC Japan株式会社の調査によれば、平成25年4月～6月の国内携帯電話出荷台数が、844万台（前年同期比7.1%増）と、プラス成長となっています。スマートフォン出荷台数が伸びており、653万台（前年同期比26.8%増）と拡大しています。

電子書籍の市場環境は、株式会社インプレスビジネスメディア『電子書籍ビジネス調査報告書2013』によれば、平成24年度は729億円（前年度比15.9%増）と推計されています。また、これまで電子書籍市場の中心を担ってきた、携帯向け電子書籍市場は、351億円（前年度比26.9%減）と推計されていますが、新たなプラットフォーム（スマートフォンやタブレット端末等）向け電子書籍市場は、368億円（前年度比228.6%増）と、携帯向け電子書籍市場の落ち込みを上回るほど急速に拡大していると推計されています。同報告書では、平成25年度以降は、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場が市場の中心となり、平成29年度の市場規模は、平成24年度の約3.3倍の2,390億円程度になると予測されています。

当社を取り巻く事業環境は、大手企業の参入をきっかけとして、競争が激化しています。この結果、掲載コンテンツの需要が増加し、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コスト上昇のリスクが高まっています。また、集客を強化するための広告宣伝や販促コストも増加傾向となっています。

このような環境の中で、当社は、顧客第一主義のもと、サービスの向上と差別化によって、売上高を伸ばすとともに、収益体質の改善に努めています。

売上原価については、コンテンツホルダーへのきめ細かな営業活動によって、これまでの仕入コストの比率を維持し、その上昇リスクを抑制しています。

また、販売費及び一般管理費については、広告宣伝や販促のコストは増加したものの、継続的な内容の見直しを行い、その効率化を進めています。代金回収手数料率の低い決済利用の増加も収益体質の改善に寄与しました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高は3,297百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益は320百万円（前年同期比73.7%増）、経常利益は331百万円（前年同期比77.5%増）、四半期純利益は206百万円（前年同期比76.2%増）となりました。

当社の事業は電子書籍事業のみであり、事務所も本店のみとなっているため報告セグメントはありません。以下、事業の業績を示すと次のとおりであります。

<電子書籍事業>

① 本店による電子書籍販売

当第2四半期累計期間においても、引き続き3P（プロモーション・プレイス・プロダクト）戦略による販売拡大を図りました。プロモーション戦略とは、広告やポイント付与等を用いた集客施策を指し、プレイス戦略とは、サイト改良やサイトを利用する上での、サービス内容改良等によるユーザー利便性の向上施策を指し、プロダクト戦略とは、掲載冊数拡充などのコンテンツ施策を指します。

プロモーション戦略としては、効果の高い広告の選定やポイント付与施策等、購買に結びつく集客に注力しました。また、Twitter、Facebookを活用してのPR企画も継続して行っています。

プレイス戦略としては、「電子貸本Renta!」のサイト改良、ビューア及びアプリの改良を実施し、ユーザーがより使いやすいサイト構築、電子書籍を閲覧しやすい仕組みづくりを目指しました。また、販路拡大のため、中国繁体字版「電子貸本Renta!」も開始しています。

プロダクト戦略としては、コミック、小説・ノンフィクション、ビジネス書、趣味実用書等、幅広いジャンルの書籍を入荷しました。株式会社スクウェア・エニックスのコミックの配信開始、当社が独自開発したデジタルならではの動きを付加したコンテンツである「ReComic」の提供なども行っています。また、電子書籍作品投稿サイト「upppi」において、オリジナルコンテンツの開拓を進めています。

なお、平成25年9月末現在における掲載冊数は192,548冊（コミック70,417冊、小説・ノンフィクション66,323冊、写真集34,090冊、その他21,718冊）、当第2四半期累計期間における販売冊数は13,435,747冊（コミック12,306,273冊、小説・ノンフィクション835,620冊、写真集49,957冊、その他243,897冊）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における本店による電子書籍販売の売上高は3,185百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

② 提携店を通じた電子書籍販売

ヤフー株式会社、Amazon社等のポータルサイトやECサイトとの提携による、電子書籍委託販売や取次販売を行っております。また、中国、台湾、韓国等のアジア圏を中心とした海外サイトと提携し、海外への販売活動を行っています。

当第2四半期累計期間における提携店を通じた電子書籍販売の売上高は109百万円（前年同期比260.6%増）となりました。

③ その他

その他、電子書籍の図書制作売上等を計上しております。

当第2四半期累計期間におけるその他の売上高は2百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

（注）「Twitter」は、Twitter, Inc. の商標です。

「Facebook」は、Facebook, Inc. の商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて397百万円（12.4%）増加し、3,602百万円となりました。

主な増減内容として、現金及び預金が418百万円増加、売掛金が79百万円増加、有価証券が100百万円減少しております。

固定資産は、前事業年度末と比べて29百万円（10.1%）減少し、267百万円となりました。

主な減少内容として、投資その他の資産が29百万円減少しています。

なお、当第2四半期累計期間において、重要な設備の新設および除却はありません。

この結果、資産合計は、前事業年度末に比べて367百万円（10.5%）増加し、3,869百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて、173百万円（13.6%）増加し、1,453百万円となりました。

主な増加内容として、買掛金が96百万円増加、未払金が66百万円増加しております。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて173百万円（13.6%）増加し、1,453百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて、194百万円（8.7%）増加し、2,415百万円となりました。

主な増加内容として、四半期純利益206百万円の獲得を計上しております。

この結果、自己資本比率は62.4%（前事業年度末は63.4%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より352百万円増加し、1,942百万円となりました。当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動においては、主な資金増加要因として、税引前四半期純利益の獲得額331百万円、仕入債務の増加額96百万円、未払金の増加額66百万円等がありました。これに対して主な資金減少要因として、売上債権の増加額79百万円、法人税等の支払額125百万円等がありました。

この結果、獲得した資金は307百万円（前年同四半期は283百万円の獲得）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動においては、主な資金増減要因として、定期預金の払戻による収入413百万円及び定期預金の預入による支出500百万円、有価証券の取得による支出100百万円及び有価証券の売却及び償還による収入217百万円等がありました。

この結果、獲得した資金は50百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動においては、配当金の支払額12百万円がありました。

この結果、使用した資金は12百万円（前年同四半期は発生なし）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、売上高は7,080百万円、営業利益は611百万円、経常利益は644百万円、当期純利益は400百万円を予想しています。

これは、平成25年9月13日の「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想と変更ありません。

また上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,976,493	2,395,167
売掛金	794,128	873,509
有価証券	265,812	165,574
コンテンツ資産	1,044	1,393
その他	171,055	170,894
貸倒引当金	△3,621	△3,787
流動資産合計	3,204,912	3,602,752
固定資産		
有形固定資産	7,787	7,059
無形固定資産	234	234
投資その他の資産	288,908	259,708
固定資産合計	296,929	267,002
資産合計	3,501,841	3,869,754
負債の部		
流動負債		
買掛金	595,507	692,093
未払金	309,302	375,982
未払法人税等	128,711	129,603
賞与引当金	35,303	25,926
その他	211,142	230,153
流動負債合計	1,279,967	1,453,759
負債合計	1,279,967	1,453,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,462	414,462
資本剰余金	189,389	189,389
利益剰余金	1,688,322	1,882,455
自己株式	△70,311	△70,311
株主資本合計	2,221,862	2,415,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	—
評価・換算差額等合計	12	—
純資産合計	2,221,874	2,415,995
負債純資産合計	3,501,841	3,869,754

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,715,412	3,297,630
売上原価	1,124,972	1,352,467
売上総利益	1,590,440	1,945,163
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	891,363	1,029,241
代金回収手数料	256,178	280,283
貸倒引当金繰入額	3,798	3,787
賞与引当金繰入額	12,119	15,830
その他	242,712	295,911
販売費及び一般管理費合計	1,406,172	1,625,053
営業利益	184,267	320,109
営業外収益		
受取利息	2,954	2,584
退会者未使用課金収益	15,254	11,185
その他	—	0
営業外収益合計	18,209	13,769
営業外費用		
為替差損	15,944	2,868
営業外費用合計	15,944	2,868
経常利益	186,532	331,009
税引前四半期純利益	186,532	331,009
法人税、住民税及び事業税	69,747	126,744
法人税等調整額	△542	△2,436
法人税等合計	69,204	124,308
四半期純利益	117,327	206,701

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	186,532	331,009
減価償却費	1,227	727
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△737	165
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,339	△9,377
受取利息及び受取配当金	△2,954	△2,584
為替差損益(△は益)	15,937	2,896
売上債権の増減額(△は増加)	69,114	△79,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,957	△348
仕入債務の増減額(△は減少)	51,595	96,585
未払金の増減額(△は減少)	56,443	66,680
その他	△1,480	23,778
小計	380,061	430,152
利息及び配当金の受取額	3,275	3,125
法人税等の支払額	△99,964	△125,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,372	307,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,601	△500,601
定期預金の払戻による収入	600,000	413,548
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有価証券の売却及び償還による収入	37,606	217,031
投資有価証券の取得による支出	△18,386	△19
投資有価証券の売却による収入	—	20,699
その他	△19,442	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	50,659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△12,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△12,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,584	6,509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	275,964	352,281
現金及び現金同等物の期首残高	990,119	1,590,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,266,083	1,942,748

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割について)

当社は、平成25年9月13日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で、株式分割を行いました。

1 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を目的とするものであります。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年9月30日(月曜日)最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加した株式数

①株式分割前の発行済株式総数	:	1,290,860株
②今回の分割により増加した株式数	:	1,290,860株
③株式分割後の発行済株式総数	:	2,581,720株
④株式分割後の発行可能株式総数	:	9,000,000株

(3) 分割の日程

①基準日公告日	平成25年9月13日(金曜日)
②基準日	平成25年9月30日(月曜日)
③効力発生日	平成25年10月1日(火曜日)

3 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額

前第2四半期累計期間	47円70銭
当第2四半期累計期間	82円23銭

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

前第2四半期累計期間	47円44銭
当第2四半期累計期間	81円59銭